

報告 ウクライナ被災市民の現在と 私たちにできること

日 時 9 月 20 日(土) 15 時～16 時 30 分

会 場 兵庫県保険医協会会議室 + WEB 配信

(兵庫県神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5F
JR・阪神元町駅から南に徒歩 10 分、兵庫県農業会館向かい)

講 師 丸山 美和 さん

(ジャーナリスト・ルポライター)

ポーランド国立ヤギェウォ大学哲学部 比較文明学科 非常勤講師)

参加費 無料



【講師ご略歴】

栃木県出身。ポーランド・クラクフ在住。同国立教皇ヨハネ・パウロ 2 世大学社会科学部修士課程修了（ジャーナリズムと社会コミュニケーション）。ポーランドの国立ヤギェウォ大学で教鞭を執る傍ら、ジャーナリストとして活動を行っている。

著書に「下野獺師伝」（随想舎）、「ルポ 悲しみと希望のウクライナ 難民の現場から」（新日本出版社）。

「ウクライナ侵略 難民の現場歩く」（赤旗日刊紙）、「スラヴ放浪記」（民医連月刊誌「いつでも元気」）を連載中。「週刊金曜日」に不定期寄稿中。

2022 年のロシアによるウクライナ侵攻開始から 3 年半が経過しました。戦争が長期化する中、ウクライナの人道上の危機は深刻化しています。

前線での死者は増えており、多くの若者が命を奪われています。負傷して帰還した方々も、医療や社会復帰の機会から閉ざされるなど国から放置されています。また家族も過酷な介護生活を強いられています。

さらに、多くの避難民が集まっている周辺国ではウクライナ人へのヘイトが始まり、またふるさとの文化も忘れられかけています。

このたびウクライナおよび隣国ポーランドで取材を続けるジャーナリストの丸山美和さんをお招きし、今のウクライナの人びとが置かれているリアルな状況や、私たちにできることについて報告いただく市民公開講演会を開催します。ぜひご参加ください。

* この件に関するお問い合わせは、

協会事務局 TEL 078-393-1840（担当：伊地知・有本）まで

来場参加お申し込み 【FAX 078-393-1820】

切り取らずに必要事項をご記入の上ご返信ください

市町名	医療機関名・団体名（あれば）	
お名前	参加人数	人

オンライン（Zoom 利用）による参加お申し込み

「Zoom」によりご自宅や医療機関等からご視聴いただけます。
下記 URL もしくは右の QR コードより事前にご登録ください。
アクセス方法等を案内するメールが届きます。

<http://bit.ly/41Un899>

